

韓国ソウル市の防災担当者が研修の一環として、日本の防災の取り組みについて学び自国で活かすために、六甲砂防事務所を来訪されました。  
六甲山地での砂防事業についての説明や土石流実験、現地では砂防えん堤を見学していただきました。

**概要**

日時：平成25年10月15日(火)  
13:00～16:30

場所：六甲砂防事務所、焼ヶ原えん堤 やきがはら  
(住吉川上流) など

主催：韓国訪問団 参加人数：6名



六甲山地の砂防事業についての説明

○砂防えん堤の整備について

六甲山地の砂防事業に対して、「砂防えん堤の整備の優先順位は、どの様に決めているのか?」という質問がありました。六甲砂防事務所では、溪流における砂防えん堤の整備状況や、病院や学校などの重要度の高い施設の有無などから、総合的に整備の順位を定めていることを説明しました。

また、土砂災害に対する啓発活動として、出前講座や防災訓練に参加していることを説明しました。

○ソウル市の土砂災害と災害対策について



ソウル市の土砂災害と災害対策についての説明

その後、訪問団の方からソウル市で平成23年に起きた土砂災害と、その後の災害対策についての説明がありました。韓国での最近の土砂災害への取り組みにつ



土石流模型実験

いての話を聞き、意見交換を行いました。

【お問合せ先】



国土交通省 近畿地方整備局  
六甲砂防事務所 調査課  
〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15  
TEL：078-851-0535